



始まりの30分ほど前に雨が上がり、風が強く吹き始めました。体感温度はそれほど下がることもなく、色づき始めた紅葉を愛でながらダムの上を歩き始めました。先月は足元から飛び出すバッタがたくさん見られたのに、その姿はもう見られません。青い池面を背景にススキとセイタカアワダチソウがきれいでした。



トビ

カラスより一回り大きい全長 60<sup>センチ</sup>くらいになるタカの仲間。トンビともいい、ピーヒョロロというおなじみの鳴き声や鷹口という道具の名前にもなるなど身近なタカです。



イセノナミマイマイ

アスファルトの上に乗って出てきていました。死んで殻が白くなるのを見たことはありますが、このカタツムリは生きています。



チャミノガ

多食性で様々な木の葉を食べます。じょうぶな袋に入れてさらに小枝で防御していますが、ヒメバチの仲間に寄生されます。



ヤマハゼ



ヌルデ

両方ともウルシの仲間です。紅葉といってもいろいろな色が見られます。今日以降、気温が下がって紅葉が進んで行くと思います。足を止めて葉の変化を楽しみたいものです。



ウメマツオオアリ

体長 5 ~ 6 ミリ。アカメガシワの葉にある蜜腺に来ていました。林の縁でよく見かけるアリです。



オオハナアブ

ハチの姿が見られなくなる晩秋でも花に来るのをよく見ます。ハチより低温に強いようです。



エサキモンキ  
ツノカメムシ

体長 10 ミリより大きい。背中に黄色い♡マークをもつカメムシです。落ち葉の下や朽ち木の中で越冬します。雌は卵を産んだ後、2 齢になるくらいまで保護する習性があります。



マガモ

カルガモと同じくらいの大きさです。首が緑色で黄色いくちばしで、青首という名でも知られています。ユーラシア大陸北部で繁殖し、冬を過ぎしに日本に渡ってきます。マガモからアヒルが作られています。



カンムリカイツブリ カイツブリ

カイツブリの最大種。翌日 28 羽を数える。



ミミカイツブリ？

ハト大で、目が赤い。カイツブリの目は黄色い。



クロノマチョウ

ジャノメチョウの仲間、薄暗い林内で見ることが多いチョウです。今回は林縁で休んでいました。幼虫はススキなどを食べて成長し、成虫は樹液や熟れた柿などにやってきます。低温に強く、成虫で越冬します。

**植物** ノコンギク、キダチコンギク、ヨモギ紅葉、オオニシキソウ実、ススキ、セイタカアワダチソウ、マルバルコウソウ、ホシアサガオ、カタバミ、セイヨウタンポポ、ズズカアザミ、コスモス、フジバカマ、ヘクソカズラ実、アオツツラフジ実、ヒメジョオン、タンキリマメ実、コブクザクラ、サザンカ咲き始め、カラスウリ実、カキ実、イタドリ実、イロハカエデ紅葉、ミヤマガマズミ実、カクレミノ実・落葉、タカノツメ落葉、ヤマハゼ紅葉、ヌルデ紅葉、ナンキンハゼ紅葉、**昆虫** ベニシジミ、ツバメシジミ、クロノマチョウ、ホシホウジャク、オオハナアブ、キゴシハナアブ、ツマグロキンバエ、シマバエの一種、オオクロバエ、オオユスリカ雌雄、オオスズメバチ何度も飛ぶ、ウメマツオオアリ・アカメガシワの葉上、エサキモンキツノカメムシ、オカメコオロギ声、マダラスズ声、クサヒバリ声、ホシササキリ、ツチイナゴよく飛ぶ、マユタテアカネ雄、**クモ** ジョロウグモ、シロカネイソウロウグモ、ネコハグモ、**鳥・その他** トビ、ハシボソガラス、スズメ群、ヒヨドリ声、ジョウビタキ、雌、ウグイス声、メジロ声、カワセミ声、カワウ、カルガモ、カイツブリ、ミミカイツブリ？ 12、カンムリカイツブリ2、マガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、(虫こぶ)ヨモギクワタフシ、(茸)シバフタケ、(地衣類)

**次回は 12月12日(木)、午前9時30分~12時、水資源機構P前集合、参加費100円**